

# 着衣動向について

— 小学生 —

酒 井 清 子

## On the Trend of Clothes

— A Primary Pupil —

KIYOKO SAKAI

### 緒 言

生活環境の変化するなかで、衣生活においても被服材料が複雑になり、着衣服種およびその着衣の組合わせも多様化し、さまざまである。

とくに成長期である学童について、日本家政学会被服構成研究委員会の衛生部門の担当者が、成長期における小学生、中学生の着衣の実態を把握するために全国調査をおこなった。この調査の中部地区を担当し着衣の実態調査をするのは衛生学的立場から重要だと考え、今回は中部地区の岐阜市内の小学生5、6年生男児・女児の日常の衣服の着心地、健康な衣服について、若干の成績を得たので報告する。

### 調 査 方 法

#### I 調 査 時 期

昭和54年4月、7月、10月、昭和55年1月の計4回の調査である。

#### II 調査測定日の環境

測定日は、各月とも月の中頃とした。環境状態、4月は温度22.0℃、湿度87%、天候は曇。7月は温度27.2℃、湿度78%、天候は曇。10月は温度24.8℃、湿度54%、天候は晴。1月は温度12.1℃、湿度65%、晴のち曇であった。

#### III 調 査 対 象

小学生5、6年生、男児80名、女児84名で延べ人数は、計656名。4回の計測時の学児は同一対象者である。

#### IV 調 査 内 容

調査の内容は、小学生の衣服についてのアンケート形式の調査と計測である。アンケートの質問は、着衣感覚、着衣服種と枚数、着衣服種と組合わせ、最内衣服の着用状態である。計測は着衣重量である。

### 調査結果ならびに考察

#### I 着衣感覚について

##### 1) 全身の快適度

着衣感覚、全身の快適度を図1-1に示す。

男・女児、5、6年ともに差が見られないので、5、6年生を同一集計とした。性別・調査

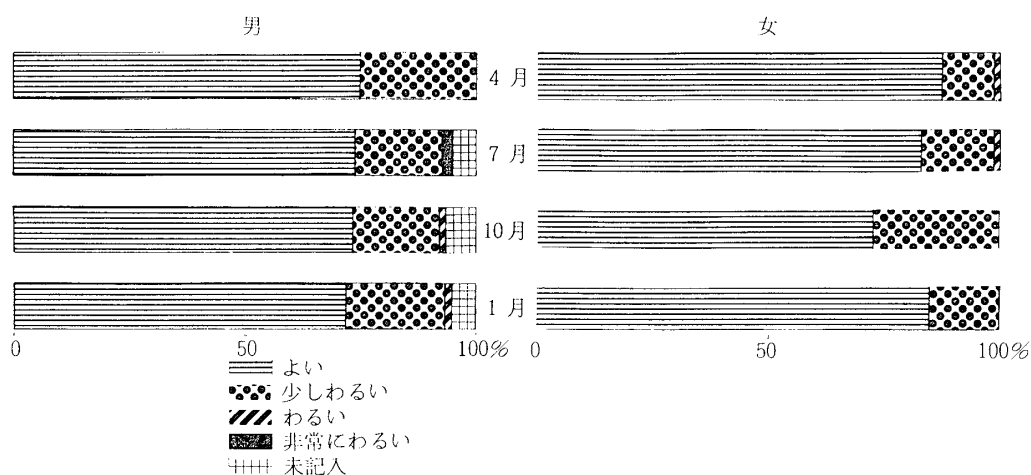


図1－1 着衣感覚，全身の快適度

月別の感覚状態を，よい，少しわるい，わるい，非常にわるい，未記入の5項目にわけて図に示した．調査月4月では，よい，男児75%，女児87.2%とよいと答えた学童が多い．少しわるいが男児25%，女児11.6%で，わるいは女児のみ1.2%で少数である．

調査月7月では，よい，男児73.8%，女児83%，少しわるい，男児18.8%，女児15.8%，わるいは女児のみ1.2%，非常にわるいは男児のみ2.5%と少数である．未記入は男児のみ4%である．

調査月10月では，よい，男児73.4%，女児72.6%，少しわるい，男児18.8%，女児27.4%，わるいは，男児のみ1.3%と大変少数である．未記入は男児のみ6.5%である．

調査月1月では，よい，男児72.2%，女児85%，少しわるい，男児21.3%，女児15%，わるいは男児のみ1.3%と大変少数である．未記入は男児のみ5.2%である．

各月ともよいと答えた学童が非常に多く70%以上である．わるい，非常にわるいは少数で2.5%以下である．男・女児とも不快を感じる学童はない．

## 2) 寒 暑 感 覚

着衣感覚の寒暑について図1－2に示す．

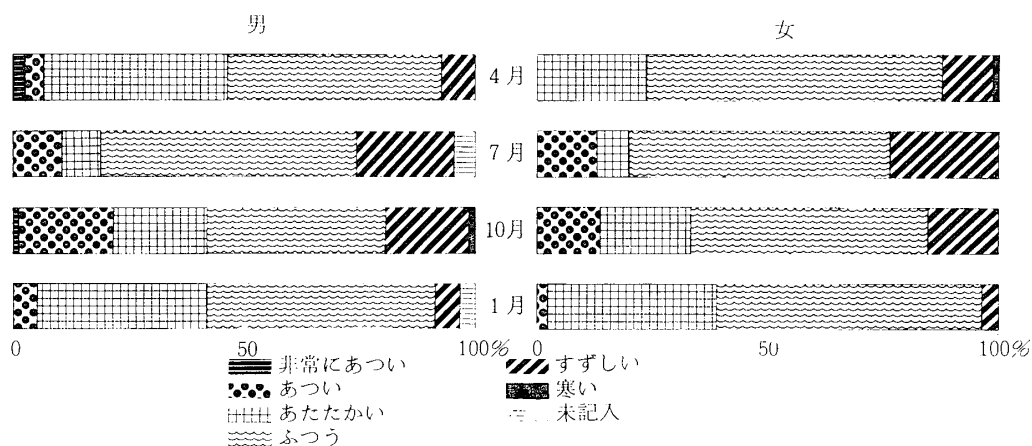


図1－2 着衣感覚，寒暑

寒暑感覚を非常にあつい，あつい，あたたかい，ふつう，すずしい，寒い，未記入と7項目にわけて図に示した．

調査月4月では、非常にあついのは男児のみ、2.7%、あつい、4.1%、あたたかい、男児39.7%、女児23.5%、ふつう、男児46.1%、女児63.5%、すずしい、男児7.4%、女児11.8%、寒い、女児のみ1.2%である。男児は非常にあついと答える学童が多く、女児はすずしい、寒いと答える学童が多い。

調査月7月では、あつい、男児10.6%、女児12.9%でわずか女児の方が多い。あたたかい、男児8.2%、女児7.1%、ふつう、男児55.2%、女児56.4%と差がない。すずしい、男児21.1%、女児23.6%、未記入は男児のみ4.9%である。

調査月10月では、非常にあついのは男児のみで1.3%、あつい、男児20.3%、女児13.8%、あたたかい、男児20.3%、女児19.8%と差がない。ふつう、男児38.8%、女児51.4%と女児の方が多い。すずしい、男児18%、女児15%、寒いのは男児のみ1.3%である。

調査月1月では、あつい、男児5.2%、女児2.4%で男児の方がわずかではあるが多い。あたたかい、男児36.8%、女児36.7%と差がない。ふつう、男児49.2%、女児57.3%とわずかに女児が多い。すずしい、男児5.2%、女児3.6%、未記入は男児のみ3.6%である。

各月とも男・女児ともふつうが約半数以上を占めている。

### 3) 湿 潤 感 覚

着衣感覚の湿潤について図1—3に示す。

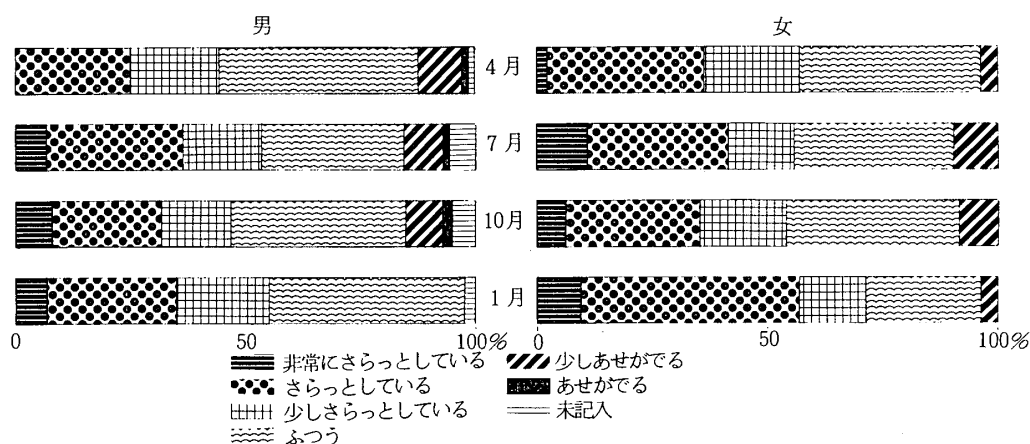


図1—3 着衣感覚，湿潤

湿潤感覚を、非常にさらっとしている、さらっとしている、少しさらっとしている、ふつう、少しあせがでる、未記入の7項目にわけて図に示した。

調査月4月では、非常にさらっとしているは女児のみ2.4%とわずかである。さらっとしている、男児25%、女児34%、少しさらっとしているは男児19.2%、女児20.9%と差がない。ふつうは男児43.4%、女児39.2%、少しあせが出る、男児9.6%、女児3.5%とわずかに女児が多い。あせがでるのは、男児のみ1.4%で、未記入も男児1.4%である。

調査月7月では、非常にさらっとしている、男児6.8%、女児10.7%で女児の方が多い。さらっとしている、男児29.8%、女児31%、少しさらっとしている、男児17%、女児14.3%、ふつうは男児30.8%、女児34.5%、少しあせがでる、男児8.3%、女児9.5%、あせがでる、男児のみ1.8%、未記入も男児5.5%である。

調査月10月では、非常にさらっとしている、男児8%、女児6.3%、わずか男児が多い。さらっとしている、男児23.6%、女児29.4%、わずか女児が多い。少しさらっとしている、男児15.2%、女児18.8%とわずか女児が多い。ふつう、男児38.1%、女児37.2%と差がない。少し

あせがでる, 男児 8%, 女児 8.3%, あせがでるのは男児のみで 1%, 未記入も男児 5% である。調査月 1 月では, 非常にさらっとしている, 男児 6.7%, 女児 9.5% とわずか女児が多い。さらっとしている。男児 28%, 女児 47.6% と女児が多い。少しさらっとしている, 男児 20.5%, 女児 14.3% と男児が多い。ふつう男児 42.3%, 女児 25% と男児の方が多い。ふつう, 男児 42.3% 女児 25% と男児の方が多い。少しあせがでるは女児のみ 7.6% で未記入は男児が 2.5% である。

## Ⅱ 着衣枚数

### 1) 全身枚数

着衣枚数. 全身に着用している枚数を図 2-1〔5 年生〕・〔6 年生〕に示す。

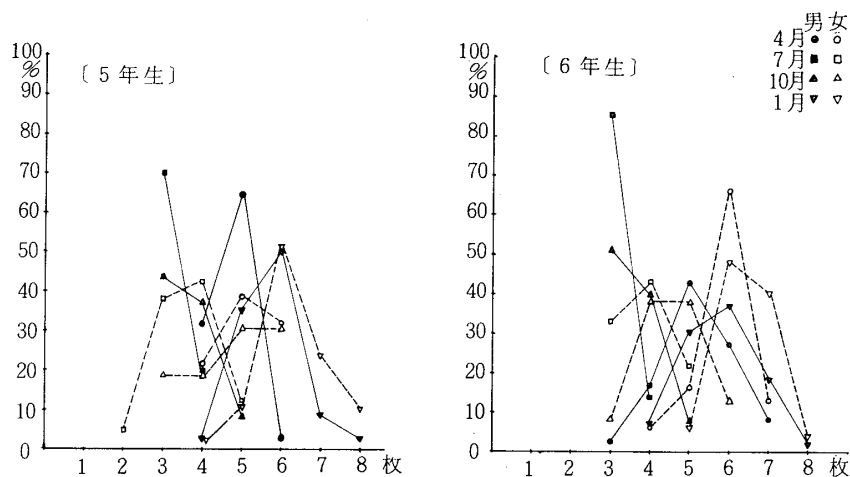


図 2-1. 着衣枚数, 全身

調査月 4 月では, 5 年生男・女児とも 4 枚 ~ 6 枚の着用枚数で男児 5 枚が 64.9%, 女児 45.9% と 5 枚の着用枚数が男・女児とも多い。6 年生は, 男・女児の着用枚数は, 3 枚 ~ 7 枚で男児は, 5 枚の 44.4% と多く女児は, 6 枚の 66.7% と多い着用枚数を示す。

調査月 7 月では, 5 年生の男・女児の着用枚数は, 2 枚 ~ 5 枚で男児は, 3 枚の 70% と大半を示し, 女児は 4 枚の 43.6% が多い着用枚数を示す。6 年生男・女児は, 3 枚 ~ 5 枚で, 男児は 5 年同様 3 枚が 85.4% と着用枚数が多い。女児は, 4 枚の 44.4% の多い着用枚数を示す。

調査月 10 月では, 5 年生男・女児の着用枚数は, 3 枚 ~ 6 枚で男児 3 枚の 44.4% と多く, 女児 5 枚の 30.6%, 6 枚 30.6% となっている。6 年生男・女児の着用枚数は 5 年生同様 3 ~ 6 枚で男児 3 枚の 51.4% と多く, 女児は 4 枚の 38.3%, 5 枚 38.3% との着用枚数を示す。

調査月 1 月では, 5 年生男・女児の着用枚数は, 4 ~ 7 枚で, 男・女児とも 6 枚が多く男児 50%, 女児 51.4% と半数以上を示す。6 年生男・女児の着用枚数は 5 年生同様 4 ~ 7 枚で, 男・女児とも 6 枚が多く, 男児 37.2%, 女児 48.9% の着用枚数を示す。各月とも女児の方が男児より着用枚数が多い傾向を示した。

### 2) 上半身・下半身枚数

着衣枚数上半身・下半身 (5 年生) は図 2-2, 上半身・下半身 (6 年生) は図 2-3 に示す。各月とも上半身は, 5, 6 年生男・女児とも, 4 月・7 月は図に示すように同傾向である。10 月・1 月は, わずかであるが変化が見られる。

調査月 4 月では, 上半身枚数は, 5 年生男・女児の着用枚数は, 2 枚 ~ 4 枚で男・女児とも 3 枚の着用枚数が多く, 男児 59.5%, 女児 62.2% と半数以上を占める。下半身枚数は, 1 枚 ~ 3 枚で男・女児とも 2 枚が多く, 男児 94.6% と多数を占め, 女児 56.8% と半数以上である。

調査月 7 月では, 上半身枚数は, 男・女児とも, 1 枚 ~ 2 枚で 1 枚の着用枚数が多く, 男児 70%, 女児 66.7% と半数以上であり, 下半身枚数では, 1 枚 ~ 3 枚であり, 男児では 2 枚の着用者が 100% を占めており, 女児 53.8% と半数以上である。

調査月 10 月では, 上半身枚数は男・女児とも 1 枚 ~ 3 枚の着用枚数で男児 1 枚が 46.7% と多

く女児2枚が33.9%，3枚も33.9%と同様枚数を占め，下半身枚数では，男女児とも2枚～3枚の着用枚数で男児は2枚の86.7%と多く，女児3枚を55.6%と半数以上を占めている。

調査月1月では，上半身枚数男・女児とも4枚～8枚の着用枚数で，男・女児とも6枚が多く男児50%，女児51.4%と半数以上を示す。下半身枚数では，1枚～3枚の着用枚数で男児2枚の85.3%と多数を占め，女児2枚の45.9%，3枚の45.9%を占めている。

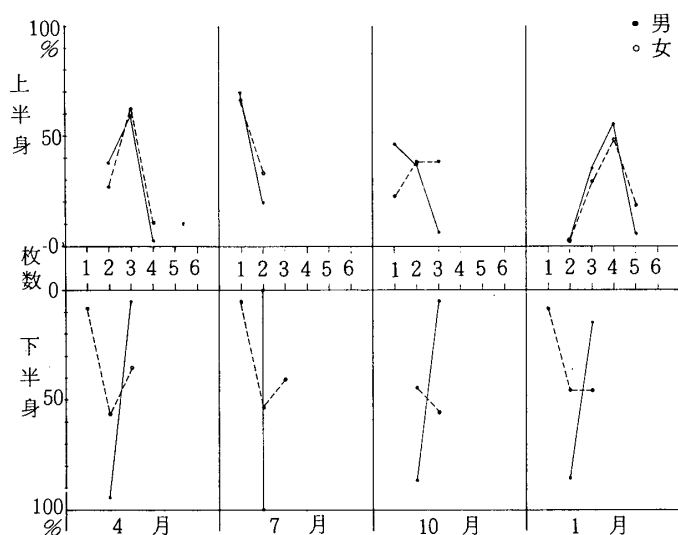


図2-2 着衣枚数，上半身・下半身（5年生）

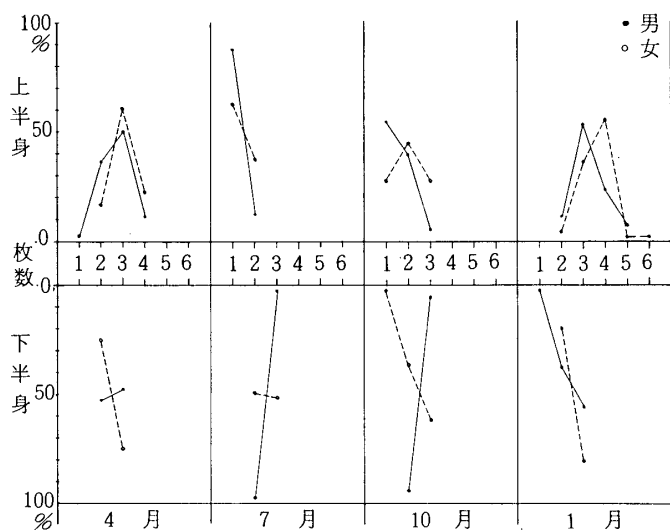


図2-3 着衣枚数，上半身・下半身（6年生）

### Ⅲ 着衣服種と組合わせ

#### 1) 服種枚数と組合わせ数

表1のように，着用衣服，上半身・下半身を学年別，男・女児別に表わした。

各月とも，学年別にはあまり差がなく，男・女児別に服の種類は，男児上半身6種類～17種類，下半身4種類～11種類で，女児上半身11種類～17種類，下半身5種類～14種類と多種であ

図2-3は，上半身・下半身6年生男・女児の着用枚数である。

調査月4月では，上半身枚数は，1枚～4枚で男・女児とも3枚の枚数が多く，男児50%，女児60.4%と半数以上を示している。下半身枚数では2～3枚で，男児2枚の52.8%，女児3枚の75%が多い着用枚数を示している。

調査月7月では，上半身枚数は，1～2枚で，男・女児とも1枚が多く男児87.8%と多数を占め，女児62.2%と半数以上を示している。下半身枚数では，2～3枚で男児2枚97.6%と多数を占め，女児3枚51.1%と半数以上を示している。

調査月10月では，上半身枚数は男・女児とも1枚～3枚の着用枚数で，男児1枚の54.3%，女児2枚の44.7%と約半数を示している。下半身枚数では，1～3枚で男児2枚の94.3%と多数を占め，女児3枚の61.7%と半数以上を示している。

調査月1月では，上半身枚数2枚～6枚の着用枚数で，男児2枚の53.5%，女児3枚の55.3%と半数を占めている。下半身では，1～3枚の着用枚数で，男・女児とも3枚が多く，男児55.8%，女児80.9%と多数を示している。

る。組合わせでは、男児上半身、9種類～28種類、下半身4種類～14種類である。女児上半身17種類～36種類、下半身8種類～36種類と男児にくらべ女児は多種多様である。

表1 着衣服種と組合わせ

性別	学年 調査月	着 用 衣 服							
		上 半 身				下 半 身			
		5		6		5		6	
		服種	組合わせ	服種	組合わせ	服種	組合わせ	服種	組合わせ
男	4	14	26	12	18	4	7	6	13
	7	6	9	7	9	5	4	5	4
	10	7	17	7	9	5	8	6	6
	1	15	28	17	33	7	9	11	14
女	4	13	26	13	34	6	8	10	17
	7	15	19	11	16	5	9	8	13
	10	17	26	16	27	7	12	9	17
	1	13	27	14	36	8	12	14	36

表2-1 服種記号

記号	上 半 身	記号	下 半 身
A	肌着シャツ	a	ショーツ, ブリーフ,
B	ランニングシャツ	b	パンツ, ズロース
C	ブラジャー	c	ブルーマース
D	スリッパ・シュミーズ	d	ガードル
E	袖付きスリッパ	e	ベチコート
F	ブラスリッパ	f	ズボン下
G	タンクトップ	g	パンスト, タイツ
H	ブラウス, カッター	h	長ズボン
I	Tシャツ, ポロシャツ	i	ジーパン
J	体 操 服	j	短ズボン
K	学 生 服	k	トレーニング・ズボン
L	セーター	l	体操ズボン
M	セーラー服	l	キュロット・スカート
N	トレーニングウェア	m	セミタイト・スカート
O	カーディガン	n	ギャザー・スカート
P	ワンピース	o	プリーツ・スカート
Q	オーバーオール	p	フレアー・スカート
R	ジャケット	q	そ の 他
S	ジャンパースカート		
T	半コート		
U	ジャンパー		
V	ベスト, ボレロ		
W	そ の 他		

表2-1は、服種記号である。服の種類、組合わせの数が多いので、服種記号で表2-1に示す。

上半身A～Wの23種類、下半身a～qの17種類である。

2) 着用者の多い組合わせ

表2-2に示すように、服種の組合わせ（上半身）である。組合わせの数が多いので、各月とも、順位1, 2, 3位までを表にした。

調査月4月では、男児5年生A～H, A～H～L, 6年生A～J～Nが多い。女児5年生A～H～S, 6年生A～J～Nが多い。

調査月7月では、男・女児5, 6年生Iが多い。

調査月10月では、男児5, 6年生はJが多く、女児は5年生A～J, 6年生はJが多い。

調査月1月では、男児5年生A～H～L～U, 6年生

はA～J～Nが多い。表2-3に示すように下半身も上半身同様、組合わせが多いので、各月とも1, 2, 3位までを表にした。

表2-2 服種組合わせ(上半身)

性別	学年 組合せ 調査月	5			6		
		順位	組合わせ	%	順位	組合わせ	%
男	4	1	A-H	13.5	1	A-J-N	19.4
		1	A-H-L	13.5	2	J-N	11.1
		2	B-I-N	5.4	2	A-J	11.1
	7	1	I	31.0	1	I	36.6
		2	B	19.4	2	J	34.1
		3	J	16.7	3	B	7.3
	10	1	J	26.8	1	J	45.7
		2	H	9.8	2	B-J	17.1
		2	I	9.8	3	A-I	11.4
	1	1	A-H-L-U	8.8	1	A-J-U	12.2
		2	A-H-V-U	5.9	2	A-J-N	9.8
		2	A-L-N	5.9	3	A-L-U	7.3
女	4	1	A-H-S	11.1	1	A-J-N	12.5
		2	A-H	8.3	2	A-J-O	10.4
		2	A-H-V	8.3	3	A-J-R	8.3
	7	1	I	17.9	1	I	35.6
		2	H	15.4	2	D-I	8.9
		3	P	10.3	3	P	6.7
	10	1	A-J	13.9	1	J	12.8
		2	H	8.3	2	A-J	8.5
		2	D-J-O	8.3	3	H	6.4
	1	1	A-H-L	10.8	1	A-J-N	8.5
		2	A-L-V-U	5.4	2	A-J-L	6.4
		3	D-H-L-U	2.7	2	D-J-L-N	6.4

表2-3 服種組合わせ(下半身)

性別	学年 組合せ 調査月	5			6		
		順位	組合わせ	%	順位	組合わせ	%
男	4	1	a-g	27.0	1	a-g	25.0
		2	a-h	16.2	2	a-k-j	16.7
		3	a-i	13.5	3	a-k	11.1
	7	1	a-g	66.7	1	a-g	58.5
		2	a-k	19.4	2	a-k	19.5
		3	a-i	11.1	3	a-i	14.6
	10	1	a-k	41.5	1	a-g	37.1
		2	a-g	26.8	2	a-k	31.4
		3	a-i	9.8	3	a-i	22.9
	1	1	a-g	55.9	1	a-k-j	24.4
		2	a-h	14.7	2	a-i-h	19.5
		3	a-j	8.8	3	a-k	12.2
女	4	1	a-b	27.8	1	a-b	21.0
		1	a-b-m	27.8	2	a-k-p	10.4
		2	a-m	16.7	3	a-b-n	8.3
	7	1	a-b-n	33.3	1	a-b-n	35.6
		2	a-n	30.8	2	a-l	15.6
		3	a-l	12.8	3	a-p	13.3
	10	1	a-b-o	36.1	1	a-b-m	34.0
		2	a-o	16.7	2	a-g	10.6
		3	a-i	8.3	2	a-b-l	10.6
	1	1	a-b-n	24.3	1	a-b-o	34.0
		2	a-g	21.6	2	a-b	8.5
		3	a-h	10.8	2	a-b-j	8.5

調査月4月では、男児5、6年生はa-gが多く、女児5、6年生はa-bの組合わせが多い。  
調査月7月では、男児5、6年生は4月同様a-gが多く、女児5、6年生はa-b-nの  
組合わせが多い。

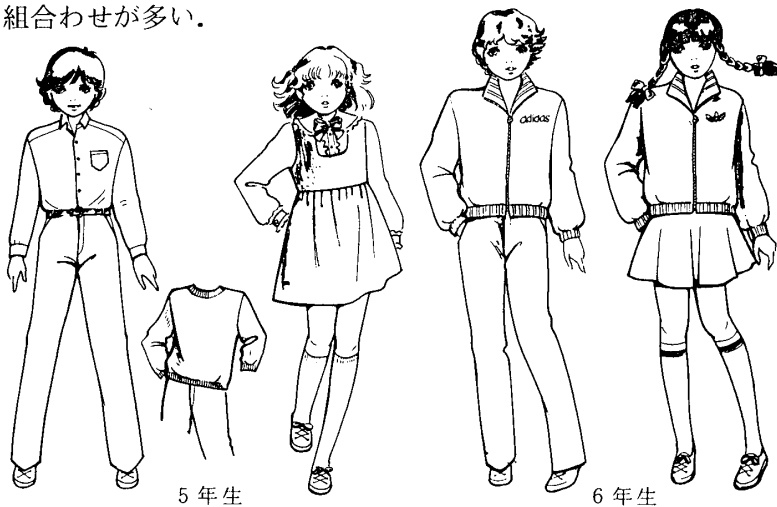


図3-1 4月

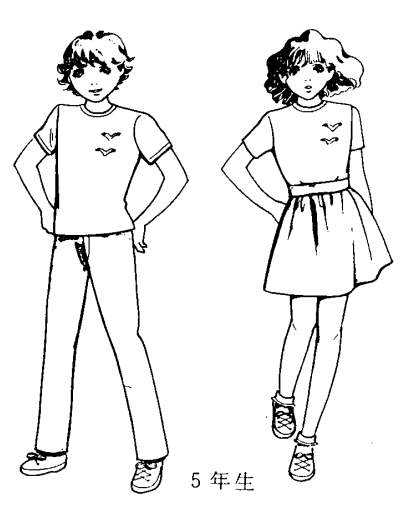


図3-2 7月

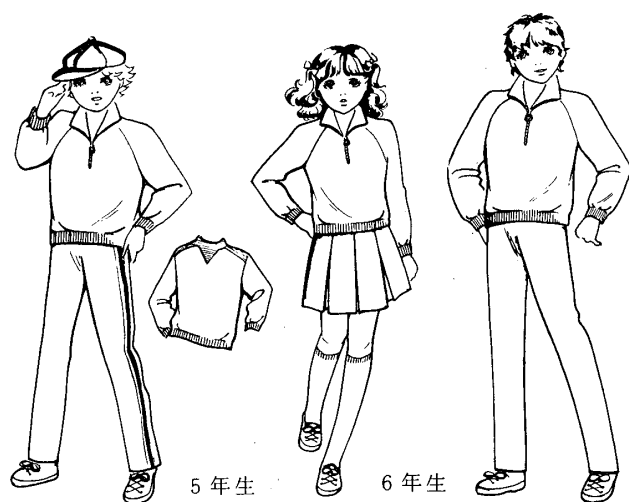


図3-3 10月

表3は下半身の衣服の形式を表わした。

女兒の下半身の衣服形式をズボン形式、スカート形式にわけてみた。

5年生では4月・7月・10月はスカート形式が多数を示し、ズボン形式は少数で、1月のみ半数以上がズボン形式である。6年生は4月・7月は半数以上がスカート形式で、10月・1月はズボン形式が半数以上を占めている。5、6年生とも、1月の冬期、寒い時期はズボン形式が多い。

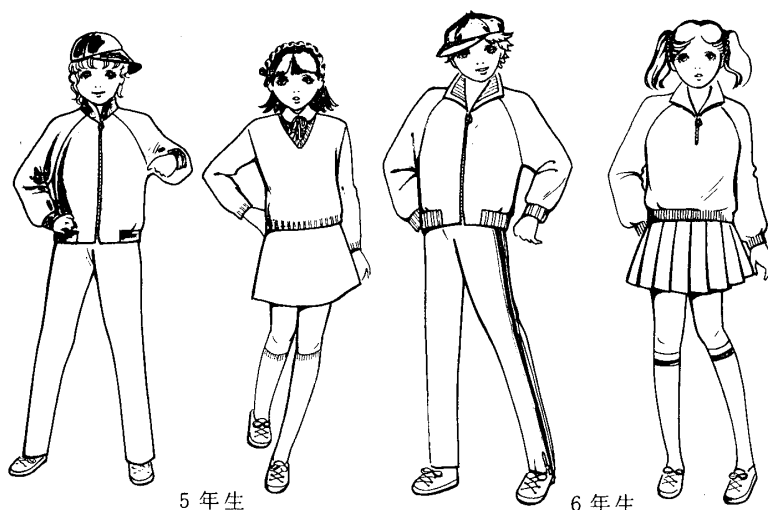


図3-4 1月

表3 衣服形式(下半身)

学年 形式 調査月	5		6	
	ズボン	スカート	ズボン	スカート
4	16.7	83.3	37.5	62.7
7	17.9	82.1	48.7	53.3
10	38.9	61.1	53.2	46.8
1	56.6	43.4	53.0	47.0

シャツ着用者が30.5%，6年生は、カッターシャツ39.5%，体操服39.7%着用している。

調査月10月では5、6年生とも体操服が多く、5年生では36.6%，6年生では57.3%と半数

調査月10月では、男児5年生a-k，6年生はa-gが多い。女児5年生a-b-o，6年生はa-b-mの組合わせが多い。

調査月1月では、男児5年生a-g，6年生はa-k-j，女児5年生a-b-n，6年生はa-b-oの組合わせが多い。下半身組合わせは、5、6年生とも女児はb，ブルマーの着用者が多い。

多い組合わせを図3-1，3-2，3-3，3-4に示すごとく，4月・10月・1月の別に，スタイル画に表現をした。

### 3) 上半身最内衣服

表4-1に，上半身最内着用服種を表わした。

直接肌に着用する最内衣服は、男児は7種類である。

調査月4月・1月は、男児5、6年生ともに、肌シャツ着用者が多く、5年生4月では91.9%，1月では70.6%が着用している。

調査月7月では、男児5年生は、T

表4-1 上半身最内着用服種

性別	服種	調査月		4		7		10		1	
		学年									
		5	6	5	6	5	6	5	6	5	6
男	肌 シャ ツ	91.9	63.2	27.8	15.3	26.8	17.1	70.6	63.4		
	ランニングシャツ		8.8	22.2	5.5	12.2	17.1	11.8	9.8		
	T シャ ツ		2.8	30.5		12.2	5.7	5.9			
	カッターシャツ	5.4		2.8	39.5	9.8	2.8	8.8	2.4		
	体操服	2.7	25.2	16.7	39.7	36.6	57.3		22.0		
	セーター							2.9	2.4		
	トレーニングウェア					2.4					
女	肌 シャ ツ	73.0	68.6	12.9	15.6	41.7	27.0	79.4	62.6		
	ランニングシャツ			2.6							
	スリップ, シュミーズ	13.5	23.0	20.5	15.6	25.0	23.0	20.6	29.0		
	T シャ ツ	8.1	2.1	17.7	35.6	8.3	7.0		4.2		
	ポロシャツ			2.6							
	タンクトップ				11.1						
	ブラウス, カッター	5.4	2.1	17.9	6.7	11.1	17.0				
	体操服		4.2	12.9	11.1	11.1	21.5		4.2		
	トレーナー			2.6		2.8	4.5				
	ワンピース			10.3	4.3						

が、23～25%のスリップ、シュミーズの着用者がいる。

表4-2 最内衣服の形態

項目		調査月		4				7				10				1			
		性別																	
		学年																	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
衿あき	あいたえりぐり	91.9	58.4	75.7	68.7	52.8	20.0	46.2	51.1	40.0	17.5	63.9	40.5	62.8	52.6	72.2	85.8		
	ふつうのえりぐり		19.4	5.4	26.0	19.4	32.0	20.5	33.3	34.0	40.0	13.9	34.0	28.4	37.6	25.0	10.0		
	つまったえりぐり		8.3		2.1	19.4	5.0	10.3	6.7		5.4	5.5		2.9	4.9	2.8			
	あけしめできるえりぐり	8.1	13.9	18.9	4.2	8.4	43.0	23.0	8.9	26.0	37.1	16.7	25.5	5.9	4.9		4.2		
袖の長さ	ながそで	24.3	30.5	32.5	22.8			2.6	7.0	7.3	11.4	13.9	2.1	37.2	41.5	25.0	19.5		
	7分そで	2.7	2.8	2.7	6.2					2.4		2.9	2.1		2.4	36.0	4.2		
	5分そで				4.6	8.3	11.9	5.1	20.0	9.8	8.6	2.9	17.0	2.9	2.4	2.8	6.3		
	3分そで	37.9	41.7	24.3	33.2	58.4	69.0	35.9	31.1	61.0	51.4	33.0	40.5	34.3	36.6	14.0	34.5		
	そでなし	35.1	25.0	40.5	33.2	33.3	16.7	56.4	33.3	19.5	28.6	47.3	38.3	25.5	17.1	22.2	35.5		
衣服丈	へそまで	16.2	8.3		2.0	8.6	4.8	10.3	8.9	4.9		5.0	4.3	5.9	12.2	11.0	8.3		
	下腹まで	47.3	70.5	64.9	50.0	52.9	35.7	66.6	28.9	43.9	34.3	52.8		53.0	65.8	66.7	49.0		
	太もも上部	36.5	21.2	18.9	29.2	34.4	57.1	12.8	51.1	43.9	60.0	25.5	42.5	38.2	22.0	16.7	28.0		
	太もも中央			16.2	18.8	4.1	2.4		6.4	7.3	5.7	13.9	46.8	2.9		5.6	8.3		
	ひざまで							10.3	4.4			2.8	6.4				6.4		

以上を占めている。

女兒は直接肌に着用する最内衣服は、10種類で男児にくらべて多い。

調査月4月・1月では、男児と同傾向で肌シャツ着用者が多く、5年生4月73%、1月では79.4%と多数を占めている。

調査月7月では5、6年生とも服種が多く、5年生女兒は20.5%がスリップ、シュミーズを着用している。6年生はTシャツを35.6%着用している。

調査月10月では肌シャツの着用者が多い

#### 4) 形 態

##### 最内衣服の形態

男・女児の直接肌に着用している服種の形態によって、外衣の着用する服種に変化があると考え、最内衣服の形態について、表4—2に示した。

##### (1) 衿 明 き

衿明きの状態を、・あいたえりぐり、・ふつうのえりぐり、・つまったえりぐり、・あけしめできるえりぐりの、5項目についてしらべた。

調査月4月では、男・女児5、6年ともに、あいたえりぐりが多く、男児5年生では91.9%である。

調査月7月では、男児5年生、女児5、6年生があいたえりが多く、男・女児5年生、女児6年生50%と、半数を占めている。男児6年生のみ、あけしめできるえりぐりを43%好んでいる。

調査月10月では、7月と同傾向で、男児5年生、女児5、6年生が、あいたえりぐりを好み40%以上を占めている。男児6年生のみ、ふつうのえりぐりを40%好んでいる。

調査月1月では、男・女児5、6年生が、あいたえりぐりを多く好み、女児6年生では85.8%を占めている。

##### (2) 袖の長さ

袖の形状を、・ながそで、・7分そで、・5分そで、・3分そで、・そでなしの5項目についてしらべた。

調査月4月では、袖の長さは、男児5、6年生とも、37.9%以上を3分そで、女児5、6年生は、33.2%以上がそでなしである。

調査月7月では、男・女児とも4月と同傾向である。男児5、6年生とも、58.4%が3分そで、女児はそでなしが多く、5年生では56.4%と半数以上を占めている。

調査月10月では、男・女児5、6年生とも、3分そでが多く50%以上を占めている。男児5年生では、3分そで61.5%を占め、女児は5年生そでなし47.3%、6年生3分そで40.5%を占めている。

調査月1月では、冬期のためか、あたたかさを重点にして、ながそで男児5、6年生、37.2%以上を占め、女児5年生は7分そで36%、6年生そでなし35.5%、3分そで34.5%を占めている。

##### (3) 衣 服 丈

着用している衣服丈を、・へそまで、・下腹まで、・太もも上部、・太もも中央、・ひざまでの5項目についてしらべた。

調査月4月では、最内衣服のためか、男・女児とも5・6年生は下腹までの丈で47.3~70.5%を示している。

調査月7月では、5年生男・女児とも、下腹までの丈で52.9~66.6%を占め、6年生男・女児は、太もも上部を50%以上占めている。

調査月10月では、5年生男・女児とも下腹までの丈で43.9~52.8%を示し、6年生男児、太もも上部60%、女児太もも中央を46.8%を占めている。

調査月1月では、男・女児5、6年とも、下腹までの丈が50%以上を占めている。

##### (4) 最内衣服の布地

最内に着用している衣服の布地を、・もめん・ウール・化せん・こん用・その他の5種類についてしらべた。

表 4—3 最内衣服の布地

項 目	調査月 性別 学年		4				7				10				1			
			男		女		男		女		男		女		男		女	
			5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6
も め ん			89.2	69.4	83.8	85.4	44.4	43.4	35.8	58.4	45.0	40.0	52.8	60.0	79.4	65.9	88.8	87.4
ウ ー ル											2.5					2.4		
化 せ ん					5.4		2.8	4.8	2.6	4.3	5.0	2.9	16.7	12.5	8.8		5.6	2.1
こ ん 用			8.1	11.1	8.1	14.6	52.8	51.8	59.0	37.3	45.0	57.1	30.5	27.5	11.8	31.7	5.6	10.5
そ の 他			2.7	19.5	2.7				2.6		2.5							

調査月 4 月と 1 月は、男・女児学年の別なく、もめんの最内衣服を着用している学童が多く、4 月では 70～90%，1 月では 70～80%を占めている。

調査月 7 月では、男児 5，6 年，女児 5 年生は、混用使用が多く、52%～60%を占めている。女児の 6 年生のみ、もめんを 58%使用していた。

調査月 10 月では、男児 5，6 年生が、混用使用が多く、45%～57%を占めている。女児 5，6 年生はもめんを使用し、52%～60%を占めている。女児の学童は、5，6 年とも、もめんを使用するのが多く、男児の学童は、こん用・もめんを使用している。

#### (5) 最内衣服の利用

最内衣服としての下着の利用度をしらべると、

調査月 4 月では、男児 5 年生 81.1%，6 年生 72.2%，女児 5 年生 81.1%，6 年生 70.8%，と 70%以上下着を着用している。

調査月 7 月では、男児 5 年生 16.7%，6 年生 8.6%，女児 5 年生 17.9%，6 年生 22%と大変着用が学童によって異なる。また、夏期のため、下着を着用しないで、衣服をそのまま重ねないで着用する傾向であるので、下着着用者が少数である。

調査月 10 月では、男児 5 年生 29.3%，6 年生 22.7%，女児 5 年生 58.3%，6 年生 38.3%，と女児にくらべ男児の方が着用数が少数で、この月は、まだ暑さが残っているので、下着着用者が少数である。

調査月 1 月では、男児 5 年生 67.6%，6 年生 63.4%，女児 5 年生 72.2%，6 年生 77.1%，と調査月 4 月と同様、67%～77%の着用者がいる。男児にくらべ、女児の学童の方が、下着を着用するように思われる。

表 5 衣服重量 (g/m<sup>2</sup>)

調査月	学年 性別 数値		5					6				
			平均値	最大値	最小値	標準偏差	変動係数	平均値	最大値	最小値	標準偏差	変動係数
4	男		669.5	1,730.0	369.4	254.1	38.0	718.8	1,273.6	369.1	216.4	30.1
	女		622.7	943.6	390.9	150.1	24.1	704.5	1,155.1	409.3	164.3	20.5
7	男		312.0	463.0	198.0	61.4	19.7	327.6	688.1	141.1	122.2	37.3
	女		331.0	662.8	106.5	95.1	28.7	357.8	609.1	216.4	73.7	20.6
10	男		381.1	771.9	203.5	141.2	37.6	348.2	565.7	216.4	100.6	28.9
	女		511.6	1,150.0	233.9	454.6	88.6	531.8	1,176.7	312.5	170.0	32.0
1	男		1,057.2	1,695.2	722.7	233.8	22.1	906.9	1,680.9	512.6	250.2	27.6
	女		1,107.2	1,786.6	661.4	294.0	26.6	986.5	1,398.1	585.0	216.5	22.0

#### IV 着衣重量

被服による加重は、大部分両肩と腰部にかかり、被服による荷重の影響は大である。身体部位によって異なるが、被服着用によって大変妨げられる。そこで被服の形態も重要であるが着衣重量の多少により影響をおよぼす。とくに成長期における学童には、健康・発育の面から、被服の重量、荷重は大変重要である。

##### 1) 衣服重量

表5に示す衣服重量は、男・女児別、学年別にあまり差がない、夏期と冬期では、衣服重量をくらべると、3倍くらい男・女児とも、冬期の方が重い。最大値と最小値をくらべると、男児の最小値は、7月の6年生141.1と最大値4月の5年生1,730.0で1,588.9gの差がある。

女児最小値は、7月の5年生106.5と最大値1月の5年生1,786.6で1,680.1gの差がある。衣服重量の最大値の学童の体表面積を検討したが、体表面積がかならずしも、少なくはない。また、最大値と最小値の両者の学童の着用感覚についても、衣服重量が重いから不快とはいえない。

表6 荷重分布（上衣／下衣）

調査月	性別	学年 数值	5					6				
			平均値	最大値	最小値	標準偏差	変動係数	平均値	最大値	最小値	標準偏差	変動係数
4	男		1.7	3.9	0.7	0.8	50.6	1.8	4.5	0.6	1.0	55.6
	女		2.5	16.5	0.4	3.3	130.1	2.0	8.4	0.5	1.8	90.5
7	男		0.7	1.4	0.2	0.3	44.1	0.7	3.4	0.2	0.5	67.3
	女		1.2	8.0	0.2	1.6	134.7	0.6	1.7	0.2	0.4	64.0
10	男		1.3	4.0	0.2	0.8	60.7	1.4	12.0	0.3	1.9	136.5
	女		1.1	6.3	0.1	1.1	98.2	1.3	11.6	0.3	1.8	142.6
1	男		2.2	4.8	0.9	0.8	35.1	2.5	22.0	0.5	3.3	131.1
	女		4.2	45.7	0.6	8.2	195.9	2.4	13.2	0.7	2.5	105.3

##### 2) 荷重分布

表6に示すように荷重分布は、最小値は各月を通じて、下半身の方が上半身に比べ軽い。調査月4月では、最小値と最大値において、男児5年生、6年生にはあまり差がない。女児5年生で最小値と最大値とでは約40倍の上半身の重量が目立つ。

調査月7月では、男児はやや上半身が重い、女児5年生では最小値と最大値で約40倍重い。調査月10月では、男・女児とも、20～60倍上半身が重い。

調査月1月では、男児はあまり差がない。女児5年生は上半身に最小値と最大値の重量に約70倍の差がある。

以上の事から、肩部に大変負担をかける。男児では約5.5～44倍、女児では約8.5～76倍の差がある。男児はズボンを着用しているため少数であるが、女児は上位下位、続きのワンピース形式の服種を着用するため、下半身の軽装が目立った。

#### 結 論

以上の結果次のような結論をえた。

1) 着心地感覚は、男・女児とも年間を通じて80%以上、良いと答え、不快な感じをもつ学童

は少ない。

- 2) 男児にくらべ、女児は服種、着用枚数、着用組合わせが多種多様である。
- 3) 男児にくらべ、女児は衣服重量の上半身・下半身のバランスに変化がみられた。
- 4) 重い衣服重量を着用していても、着用感で良いと答える学童がいる。これは生活習慣のなれではないかと思われる、発育期の衣服を選択する場合、小学生の時期は、まだ自分で選択する能力が乏しいので、母親の配慮が必要である。
- 5) 下着を着用する学童が多い。
- 6) 女児下半身衣服に、ブルマーの着用者が多い、これは生理期間における指導がなされているためではないかと思われる。

本調査研究に当り、御協力下さった岐阜市立長良小学校校長、ならびに家庭科担当野村令子教諭、また5、6年生の学童の皆様に深く感謝の意を表します。

#### 参 考 文 献

- 1) 庄司光他：繊維消費科学，9，8～11（1968）
- 2) 庄司光他：繊維消費科学，9，12～21（1968）
- 3) 庄司光他：繊維消費科学，5，10～12（1969）
- 4) 庄司光他：繊維消費科学，5，13～18（1969）
- 5) 酒井清子：名古屋女子大学紀要，17，41～49（1972）
- 6) 酒井清子：名古屋女子大学紀要，27，25～33（1981）